

アイリス Letter

保護者の皆様へ



2019年4月27日発行
第1号
広島女学院中学高等学校

聖書のことば

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」

テサロニケの信徒への手紙一 5章16～18節

4月6日に中学入学礼拝、8日に高校入学・始業礼拝をもち、2019年度が始まりました。中高合わせて、1250名の生徒数です。また、ドイツから留学生を1名迎えました。一人ひとりが、神様の愛に支えられ、恐れることなく挑戦するものとなる一年となりますよう、お祈りいたします。

春休みから4月にかけて、生徒たちのたくさんの活動がありました。3月31日の高校音楽部演奏会に始まり、高校ダンス部、中高吹奏楽部、中学演劇部、高校演劇部、中高マンドリン部の公演・演奏会は、どの部もその一生懸命さが伝わる素晴らしいものでした。1年後に向けた新しい取り組みが始まります。また、国内外への研修もありました。研修後の取り組みに期待します。

今、学校では体育大会応援団の練習風景が見られます。大型連休のために、今年の体育大会準備は例年より早く始まりました。生徒たちは柔軟に対応し、日に日に上手になっているようです。

さて、大型連休はどのようにお過ごしですか。ご家族の方との時間を大切にしてほしいです。今年度も始まると同時に、ただ走り続ける毎日です。その中で、喜びや安心のみが与えられるのではないです。残念なこと、不安なことに会うことも多いと思います。神様は、世の価値のあるものとは異なるものを与えてくださいます。一つ一つのことに、その意味を感じ、喜び・祈り・感謝を覚える歩みになってほしいと祈ります。

(校長)



イースター特別礼拝

「イースター（復活祭）」は、クリスマスとならぶキリスト教の大切な記念日です。私たちの救いのために、自分を犠牲にして十字架で死んだイエス・キリストが“復活”したことをお祝いします。太陰暦で定められたため毎年変動しますが、今年は、4月21日（日）でした。女学院では4月20日（土）にイースター特別礼拝を行い、日本キリスト教団広島観音町教会牧師の塩見和樹先生より次のようなメッセージをいただきました。

「私たち人間は、人のことよりも自分を優先し、人の痛みを見て見ぬふりをする自分勝手なところがある。それをキリスト教では「罪」という。イエスは、私たちが自分の罪に気付くために十字架にかかられた。罪に気付くから後悔できる。でもそれだけでは気持ちが沈む。私たちがもう一度前を向いて歩いていけるチャンスをくれるために、イエスは復活した。イエスの墓は大きな石でふさがれていた。とても自分たちの力では取り除けない。しかし自分が決めてしまっている限界のその先に、もっと自由な世界が広がっている。女学院での学びが、その世界を開くための準備となることを祈っている。」

（宗教教育委員会）

春休み GEC 活動報告

詳しくは、広島女学院中高HPのブログ「今日の女学院」をご覧ください。

I. 海外研修（SGH 事業）

① カンボジア研修

現高2の10名は、3月23日～28日の日程でカンボジア研修に行ってきました。世界遺産のアンコールワットで知られるカンボジアですが、内戦という負の歴史をもっており、今でもそのことにより、教育や女性の問題、環境問題、残留地雷の問題など多くの課題を抱えています。生徒たちは、それらの課題について調べ、現地高校生との交流会



を行いました。はじめはうまく意思疎通ができず悩んだ生徒もいましたが、何度も挑戦するうちに最後には大変活発に意見交換をしている姿が印象的でした。さらに、女性省を訪問した際の生徒の堂々とした姿に、研修中の数日間での成長を感じました。トゥールスレン博物館を見学した際には、ポール・ポ



ト政権下における虐殺からの生還者の1人 チュン・メイさんから直接体験をお聞きすることができました。真剣にメモを取りながら話を聞く生徒たちにチュンさんは感動してくださり、最後には涙を流しながら私たちを見送ってくださいました。

現地に行き想像していたものとは違う現実を、生徒はたくさん知り、「カンボジアの高校生は非常に活発に発言をする」「幸せの価値観は国によって違う」と感じたようです。今回の研修を通して、日本の社会が抱える課題もたくさん見つかる旅となりました。適度に雨が降り例年よりも過ごしやすい天気で、充実した6日間となりました。

（引率教員）



② 韓国研修

3月26日から29日まで3泊4日の日程で韓国研修を実施しました。参加したのは中2生徒7名、高1生徒9名の計16名です。この韓国研修の目的は、「より良い日韓関係を構築するには何が必要か、自分に何が出来るのか」をそれぞれ探ることです。そのため事前学習では、日韓間に存在する様々な

問題についてリサーチし、自分たちなりにその原因や解決策について考察してきました。その成果について、韓国の大学生や高校生と議論するのが韓国研修の主要な活動です。現在日韓関係は危機的な状況にあると言われていますが、実際に交流した韓国の生徒たちはとてもフレンドリーで、国家間と個人間とでは大きな差があることを実感しました。その一方で、やはり竹島をめぐる問題などではどうしても合意できない事柄があることも生徒たちは実感したようです。研修後に生徒たちが提出したレポートからは、今回の研修を通じて一人一人の生徒それぞれが大きな成果を得ることができたことがうかがえます。ただし、これはあくまでも出発点に過ぎません。今回の研修で学んだ事



ともに、これからもより良い関係を築くためには何が必要か、自分たちに何が出来るのかを考え続けていってもらえたらと思います。

(引率教員)

③ マウントユニオン大学短期研修

3月23日から4月5日までの間、中3生3名と高1生7名の生徒たちがイリノイ州にあるシカゴと、オハイオ州にあるマウントユニオン大学を訪問しました。現地ではウィリス・タワーやフィールド・ミュージアムそしてアート・インスティテュートを見学し、名物のピザやホットドッグ、ビーフサンドイッチを堪能しました。



生徒たちはアメリカの家庭や文化を体験する



マウントユニオン大学の学生やスタッフの家庭にホームステイすることで、生

ことができました。大学では平和学や平和構築について、また異文化コミュニケーションやアメリカ文化、女性の歴史について学ぶと同時に、女学院や広島歴史、そして今日の広島について学生や教職員、キワニスクラブや地元住民の方々に向けてプレゼンテーションを行いました。またラジオ番組では訪問体験についてのインタビューも受けました。



主に午前中は、自治体で食の支援を行っているフードパントリーでボランティア活動を行い、異文化交流のため幼稚園や小学校も訪問しました。今回の体験を通して生徒たちは、チーム一丸



となって助け合いながら一つ一つの課題に取り組むことができたと同時に、一人ひとりが成長する機会ともなりました。

女学院生としてだけではなく、広島を代表する者として、より平和な未来を築いていく役割を果たしてくれたことと思います。

(引率教員)

④ Global Issues (GI) ハワイ研修

現高3GI生の17名は、3月31日から4月5日にハワイ研修に行きました。

初日には、砂本貞吉先生とゆかりの深いハリス教会で礼拝に参加させていただき、温かい歓迎を受け、研修をスタートさせることができました。研修のハイライトは、パールハーバー訪問でした。戦艦ミズーリやアリゾナ記念館を見学するだけでなく、ボランティア活動「サダコ・プロジェクト」にも参加しました。このプロジェクトでは、昨年度末に中1から高2の全校生徒の皆さんに協力して折ってもらったピースメッセージ付きの折り鶴(皆さん、ご協力ありがとうございました!)を来訪者にプ



レゼントしたり、折り鶴のワークショップをしました。参加者の中には、「地元を持ち帰って友達にプレ

ゼントしたい」と、折り鶴を袋にいっぱい詰めて持って帰ってくださる方もありました。

この他にも、ハワイ日本文化センターでは、日系移民の歴史を学びました。開拓初期の過酷な生活や、敵性市民と見なされた第二次世界大戦中の苦悩など、あまり注目を浴びることのないハワイの側面について学びを深めました。

また、毎年本校のピースフォーラムに参加してくださるプナホウスクールやハワイ大学を訪問し、現地の学生と交流をしました。行く先々でたくさんの方にサポートをしていただき、実り多い研修旅行となりました。ありがとうございました。

(引率教員)

⑤ Critical Issues Forum (CIF)

今年のフォーラムは3月27日～4月4日に、カリフォルニア州モントレーにて開催されました。アメリカ、日本、ロシアから計17の高校が参加し、「核の脅威の



軽減：激動の国際社会における危機の回避」をトピックとして展開されました。参加した本校生徒2名は冬休み

前からプレゼンテーションの準備を始め、出発当日、そして移動の最中まで入念に打ち合わせをして本番に臨みました。

プレゼンの場で提案した内容は、あらゆる国にGDPの0.07%を一律課税し、その額を軍備縮小に充てるというものでした。これにより各核保有国は自国の懐を痛めることなく核の解体にあたることができます。そしてこれこそが世界全体におけ

る核の脅威の軽減につながるという発想です。この提案の背景には、軍縮を妨げる最大の要因は金銭面にある、という考えがありました。

他の参加校もそれぞれ独自の視点からプレゼンを展開しました。あるグループは一触即発状態にあるインドやパキスタンに言及し、また別のグループは「平和ボケ」や「偽りの平和」に溺れる日本の姿勢を自己批判しました。

最後の3日間はカリフォルニアのトップ2にあたるスタンフォード大とセントメアリーズ大を訪れ、美しいキャンパスで有意義な時間を過ごし行程を終えました。



(引率教員)

II. 国内研修

① 山梨学院大学 iCLA 研修

高1GI生(19名)は、3月18日(月)～20日(水)の2泊3日で、山梨学院大学 iCLA (リベラルアーツ学部) の研修に参加しました。この研修は iCLA の先生方のご協力により本校のために開発されたもので、社会学、物理学、国際政治、映画などを専門とする教授陣により、メインテーマである「戦争・核問題」についての講義が、さまざまな角度から英語で展開されました。この「英語で学ぶ」研修に向けて、参加生徒は膨大な課題資料を読み、本番に臨みました。

この研修の中心となる活動は国際交渉ゲームです。今回のテーマはイランの核武装についてでした。生徒一人ひとりに、利害関係のある国々の要人のポストが与えられ、各人が与えられたミッションを遂行するために、相手国の要人と交渉し、協力しあったり、腹を探りあったり、妥協点を見つかったり、あるいは、裏切ったり等々、

実際の国際交渉を疑似体験しました。生徒たちは、食事中も、宿泊棟に帰ってからも、夜遅くまで作戦を練るなど、一生懸命取り組みました。このゲームを通して、生徒たちは最新の国際情勢についてより深く学び、また交渉の難しさを体験できたと思います。

学びの多い三日間でしたが、特に研修の最後に山梨学院大学の原口先生からお褒めの言葉をいただき、将来的には日本に留まるのではなく、海外で自分の可能性を実現させてほしいとの励ましをいただきました。最初は難しいと感じた課題を乗り越え、自分の可能性はまだ計り知れないということを学んだだけでも、この研修に参加した甲斐があったのではないのでしょうか。これからの活動に活かしてくれることを期待しています。

最後に、きめ細やかなサポートをしてくださった山梨学院大学の先生方に感謝いたします。本当にありがとうございました。

(引率教員)

生徒会 春の公演

① 第35回高校音楽部演奏会

春の文化部公演シリーズのトップとして、3月31日(日)ゲーンズホールに於いて第35回高校音楽部演奏会を行いました。演奏会は、3ステージ構成。第1ステージは、寺島陸也作曲 女声合唱とピアノのための4つの歌「風になりたい」。第2ステージは、部員が選んだポップスのステージ「Dancing Queen」「糸」などを振り付けも交えて演奏しました。第3ステージは～祈りを込めて～と題して、松下耕作曲「ほらね」、J.ラター作曲「永遠の花」を被災地の方々のために選曲し心を込めて歌いました。続いてS.ミリケン作曲「ミサ・ブレヴィス」。音楽部員らしい透明感のある声がホールいっぱい

に響き渡りました。そして中学生2人(現高1)やOGの皆さんの力も借りて、音楽部の長い歴史にまた新しいページを加えることができ、部員一同嬉しく思っています。今回も演奏会を行うにあたってアナウンスや照明、受付などで、今年も各クラブの生徒たちの協力を頂いたことと多くのお客様のご来場に心から感謝します。

(高校音楽部顧問)

② 高校ダンス部 春の公演

4月11日(木)放課後に、ゲーンズホールにて高校ダンス部の春の公演がありました。「出会いと別れ」をテーマに、曲、衣装、振り付け、照明をそれぞれの演目担当者が考え、コーチの指導の下、ダンサーとスタッフが協力してステージを創り上げました。知っている曲が多かったのでお客様にも楽しんでいただけたことと思います。特に、高3の7名が最後に披露した、映画「The Greatest Showman」の挿入歌「Never Enough」でのダンスは、2年間の活動の集大成たるものでした。アンコールでは、全員が白の衣装で登場し、とても良い表情で踊りきりました。高3はこの公演で引退となり、新体制でダンス部がスタートします。平日にもかかわらず、多くの方々にご来場いただき、ありがとうございました。

(高校ダンス部顧問)



③ 中学演劇部 春の公演

「鎖をひきちぎれ」

中学演劇部は、4月17日(水)ゲーンズホールにて、「鎖をひきちぎれ」(加藤のりや作)を上演しました。

今回は部員が6名しかおらず、キャストは皆膨大なセリフ量に苦勞し、スタッフも代わりがない中で不安もたくさんありました。しかし、一人ひとりがそれぞれの大きな

責任を果たし、立派に舞台を完成させました。中3の3人は、協力し合い、十分に部を引っぱってくれました。

今年はノークラブデー（水曜）の放課後の上演ということで例年よりも多くの生徒に来ていただきました。このことは大変部員の励みになり、本番ではいつも以上の力を発揮することができたようです。もちろんまだまだ練習不足のところもありました。これからまた練習を積み重ね、文化祭公演でより良い舞台をお見せできるよう、部員・顧問一同がんばります。お忙しい中公演を見に来てくださった方、アンケートを書いてくださった方、日ごろの練習・準備に協力してくださった方、すべてにお礼を申し上げます。これからも応援よろしく願いいたします。

（中学演劇部顧問）

④ 第32回 吹奏楽部定期演奏会

4月14日（日）小雨の中、ゲーンズホールにて吹奏楽部は第32回定期演奏会を開催いたしました。第1部は吹奏楽曲を中心に、全4曲を演奏。雄大な曲が多く、伸びやかな音を奏でることができました。第2部では寸劇と共にドラゴンクエストや嵐等の有名曲を演奏する「Join メドレー」や、引退する高校3年生のソロを中心とした「魔女の宅急便コレクション」、またパーカッションアンサンブルもあり、ご来場の方々にも楽しんで頂けた様子でした。放送部によるアナウンス、また演劇部には照明で協力してもらい、いろいろな方々の協力のもと、演奏会を開催することができました。400名弱のお客様にご来場いただき、本当にありがとうございました。今後もどうぞ吹奏楽部への応援をよろしく願いいたします。



（吹奏楽部顧問）

中学校部活動

保護者対象説明会のお知らせ

今年度も中学校部活動で、運動部・毎日活動する部を中心として、各部部員の保護者を対象に、活動内容等に関する説明会を開催します。時間・場所等の詳細については、後日各部顧問から生徒を通して連絡があります（「未定」の部も同様です）。保護者の皆様はぜひご出席ください。

剣道部

5月18日（土）12：50 予定
（PTA 総会終了10分後から）
剣道場（体育館1階、食堂横）
※中学のみで行います。

ソフトテニス部

5月18日（土）学級懇談終了後
（詳細については、後日連絡します）

卓球部

6月15日（土）14：00～
高校1階 106 教室

ソフトボール部

5月18日（土）学級懇談終了後
（詳細については、後日連絡します）
中学校 2-5 教室

バスケットボール部

6月中に行いますが、大会結果により日程を決定します。

新体操部

6月18日（火）16：00～
中学校3-1 教室

バレーボール部

未定。後日連絡します。

マンドリン部

6月1日（土）14：00～15：00
中学校2階 講義室

吹奏楽部

6月15日（土）14：00～15：30
会場等詳細は後日連絡します。

演劇部

6月18日（火）16：00～
中学校2階 集会室2

（中学生徒会顧問）

保健室だより（1）

新しい年度が始まりました。慣れない環境に疲れを覚えている人も多くいるようです。これから長い休みに入りますが、生活リズムを大きく乱してしまうことがないように気をつけましょう。

1 学期は各種検査・検診が多くあります。自分の身体をみつめ、生活を見直すきっかけにして欲しいと思います。検診後は、受診の必要性が見つかった人にもみお知らせを出します。学期末にはすべての検診の結果をお返ししますので、確認をお願いします。また、再検査の必要がある人、尿検査をまだ提出していない人（は生理中であっても生理中と袋に書いて）提出しましょう。GW 明けの5月9日（木）に必ず提出をするようにしてください。

（保健室）

心の健康（1）

人は誰でも新しい環境では気を使いながら過ごします。新学期は、中1生から高3生まで、また先生や保護者にとって新しいことが多く、何かと気を使いストレスのかかる日々です。

以前、このストレス（STRESS）を上手に解消していくヒントを頭文字にそってお知らせしました。新入生の保護者を歓迎して、もう一度、示しておきます。

- S**—sport ・運動しよう
- T**—tree ・自然にふれよう
- R**—relation ・人間関係をもとう
- E**—eating ・食べることを大切にしよう
- S**—sleeping ・睡眠を十分にとろう
- S**—speaking ・おしゃべり、話し合おう

5月は休みが多く家族で過ごしやすいため、共にどれかを十分に実行して心の健康を保ちましょう。

（カウンセラー）



生徒の活躍

《高校》

◇個人の活躍

- * 第23回 PIARA ピアノコンクール
中国四国地区大会 デュオD部門
O・M（2-D） 優秀賞



教職員の動向

◇今年度の新任の先生は次の方々です。

《教員》

- 星野 ゆり（英語）
- 有原 一正（英語）
- 村尾 優太（数学）

《講師》

- 伊藤 薫（国語）
- 立川 ゆり（国語）
- バードル キンバリー（英語）
- 上原 誓恵（情報）

◇4月1日付けで職員の異動がありました。

《事務室》

- 着任** 森脇 正樹
- 長岡 香織



今月の聖句

「わたしたちは目に見えるものではなく見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが見えないものは永遠に存続するからです」

(コリントの信徒への手紙二 4章18節)

英国が世界に誇る「ナルニア国物語」は、作者のC. S. ルイスが、聖書の世界を子供たちに伝えるために書かれました。彼は本物のファンタジーとは、子供向けのおとぎ話、実際にはありえない空想物語ではなく、確かに存在するのだけれど目に見えない大切なものを伝えるための最高の手段だと語っています。

イエス・キリストは、歴史的には約2000年前に生きた人です。でも、聖書を読む人たちは、聖書を通して、今、この時、イエスがそばにいて感じ、イエスの暖かさに触れることができます。イエスが手を触れただけで病気を治すなんて不可能だと私たちは頭では考えます。でも実際にはありえないように思われるその物語の中に入っていくならば、私たちはイエスがどんな方か、イエスと出会うということがどのようなことかを確かに体験できるのです。

聖書に書かれていることはすべてがそのままたまの事実ではありません。でも事実以上に、私たちに大切なことを体験させてくれます。「ナルニア国物語」の主人公たちがそうであったように、聖書の世界と出会わなければなかった自分の中の目に見えない変化を大切にしてほしいと思います。

(4月12日 中学ホール礼拝より聖書科T. M)

5月行事予定表

1	水	即位の日
2	木	
3	金	憲法記念日
4	土	みどりの日
5	日	こどもの日
6	月	振替休日 高3両合マーク模試
7	火	月曜日授業
8	水	中3内科検診(5,6限呼び出し) [EP]
9	木	高1内科検診(5~7限呼び出し)尿検査
10	金	体育大会準備 40分授業6限まで 4~6限土曜授業 (L)
11	土	体育大会(雨天の場合は休日)
12	日	体育大会予備日
13	月	振替休日(体育大会) 体育大会中止の場合は月曜授業
14	火	
15	水	中3内科検診(5,6限呼び出し) 地区会顔合わせ会(昼休み)
16	木	高2内科検診(5~7限呼び出し)
17	金	
18	土	参観日 PTA総会 (L・総) (午後)学級懇談会
19	日	
20	月	
21	火	中間テスト(高1・2・3) 高1各種テスト
22	水	(中1・3) 1限8:55~15分休憩(午前)
23	木	(中2) 1限8:55~15分休憩
24	金	1限8:55~15分休憩 中1各種テスト
25	土	(L・総)
26	日	高3駿台全国模試(希望者)
27	月	
28	火	
29	水	[EP]
30	木	高2内科検診(5~7限呼び出し)
31	金	

※6/18(火)参観日